

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆小溝事務総長がタイ・オーストラリアを訪問
- ◆赤十字・赤新月社総会で平和首長会議原爆ポスター展を開催
- ◆第5回「核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ」が開催されました
- ◆ドイツの平和首長会議加盟都市がドイツ新政権主要政党に「核兵器のない世界」等を約束するよう要請
- ◆マンチェスター市長が核兵器廃絶への要請を支援するための平和首長会議レセプションを開催
- ◆赤十字・赤新月社代表者会議で核兵器廃絶を求める決議を全会一致で採択
- ◆加盟都市の活動紹介（市原市（千葉県））
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆11月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：158か国・地域 5,831自治体

=====

◆小溝事務総長がタイ・オーストラリアを訪問

[11月11日～18日]

=====

小溝泰義平和首長会議事務総長が、タイ・バンコク市、チェンマイ市、オーストラリア・フリマントル市、シドニー市を訪問し、リーダー都市への就任や地域での平和首長会議の活動の拡大について協議しました。また、赤十字・赤新月社総会出席者や、海外で被爆体験証言活動等を行う被爆者、大学の平和関連研究センターの研究者、平和NGO代表者等と今後の連携について協議を行いました。あわせて、訪問地の日本国在外公館を訪問し、地域での平和首長会議加盟都市の活動支援を要請しました。

バンコク副知事との面会では、2015年のメンバーシップ納付金制度導入に先立ち、予めメンバーシップ納付金及び寄付金をお支払いするというので、日本円で10,000円を受領しました。

▼詳細記事（平和首長会議ウェブサイト）

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2013/201311_thai_aust/index_131111.html

=====

◆赤十字・赤新月社総会で平和首長会議原爆ポスター展を開催

[シドニー市（オーストラリア） 11月11日～15日]

=====

11月11日から15日にかけて、シドニーコンベンションセンターの赤十字・赤新月社総会会場において、平和首長会議原爆ポスター展を開催しました。期間中、展示ブースには、赤十字・赤新月社総会出席者や会場の赤十字スタッフ、一般来場者等、約500名が訪れ、ポスターや平和首長会議の活動写真に見入っていました。会場を訪れた方から赤十字・赤新月社の目指すところと平和首長会議の目指すところは同じである、といった言葉を頂き、じっくり見る時間のない方には平和首長会議紹介チラシとポスター展リーフレットを持って帰っていただきました。また、折り鶴の折り方を紹介し、展示ブースを訪れた方との交流を図りました。

あわせて、「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名への協力を呼び掛け、期間中 204 筆の署名を得ました。また、ブースを訪れた赤十字・赤新月社総会出席者であるモルドバ共和国サディク市の市長が平和首長会議の趣旨に賛同し、その場で加盟申請書を提出されました。

=====

◆第5回「核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ」が開催されました

[長崎市 11月2日~4日]

=====

第5回「核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ」が長崎市において本年11月2日~4日まで開催されました。

市民、長崎市、長崎県、(公財)長崎平和推進協会が構成された実行委員会が主催した集会には、分科会や全体会議、そのほか、紙芝居・朗読やパネル展示など関連イベントに、市民のほか、国内の専門家、オーストラリア、ニュージーランド、オランダ、韓国、米国のNGO代表等、3日間で延べ3,280人が参加しました。

分科会と全体会議では、「非核の傘・非核兵器地帯を広げよう」、「フクシマからナガサキを考える」、「核兵器禁止の法的枠組みをめざして」、「ナガサキの声・継承する若者たち」、「核兵器の非人道性を基礎に世界はこれから何をなすべきか」、をテーマに議論が行われ、それぞれの現状や課題、方向性などについてコーディネーター、パネリスト、及び参加者の間で活発な議論がなされました。

閉会集会では、核兵器の全面禁止や廃絶に向かう交渉開始、中東、北東アジアなどの非核兵器地帯設立など、核兵器廃絶に向けた具体的な行動を訴える「長崎アピール2013」を採択しました。この「長崎アピール2013」は国連や外務省、在日大使館、平和首長会議加盟都市などに送付され、核兵器廃絶の声が被爆地長崎から国内外に向けて発信されました。

▼長崎アピール

<http://ngo-nagasaki.sakura.ne.jp/wp/wp-content/uploads/2013/11/2013ナガサキアピール.pdf>

=====

◆ドイツの平和首長会議加盟都市がドイツ新政権主要政党に「核兵器のない世界」等を約束するよう要請

[ハノーバー市(ドイツ)からの報告 11月12日]

=====

11月上旬、新任のハノーバー市長で平和首長会議副会長であるシュテファン・ショストック市長は、ドイツ新政権の主要政党との交渉の機会にドイツの平和首長会議加盟都市からの要請を届けました。

ドイツ全土の110以上の自治体の首長が署名した書簡により、ドイツ連邦政府に対し、(1)核兵器のない世界、(2)ドイツからの核兵器の撤去、(3)ドイツに備蓄されている米国の「B-61」核爆弾の使用期限延長プログラムへの反対を約束するよう要請しました。

この取組は、ザンテ・ホール氏、ウォルフガング・シュラップ・ホーク氏の2人の2020ビジョンキャンペーン及びドイツ市民団体のキャンペーン“atomwaffenfrei.jetzt(非核.ナウ)”により実現しました。また、「ドイツにおける核兵器」という見出しとともに、その使用期限延長・近代化についての問題提起がドイツ主要紙に掲載(下のリンク参照)されたことや、報道機関や関係する全ての政党の政治家への積極的なロビー活動も実現の後押しをしました。

現時点では、新政府が作業文書にこれらの要請事項を盛り込むのは困難な見通しですが、引き続き要請を行う予定です。

▼ドイツ「スピーゲル」紙に掲載された米国のB61核爆弾の使用期限延長プログラム関連記事(ドイツ語)

<http://www.spiegel.de/politik/deutschland/us-regierung-will-atomwaffen-in-deutschland-modernisieren-a-931449.html>

▼ドイツ平和首長会議のプレスリリース(ドイツ語)

<http://www.mayorsforpeace.de/presse/artikel/422e56f1c7d7d2ef3332d66a18eee694/buergermeister-fuer-dern-aktive-schritt.html>

▼協力団体“atomwaffenfrei.jetzt(非核.ナウ)(ドイツ語)

<http://www.atomwaffenfrei.de>

=====

◆マンチェスター市長が核兵器廃絶への要請を支援するための平和首長会議レセプションを開催
—サラフディン・チョウドリ氏が平和首長会議 2020 ビジョンキャンペーン大使に就任
[マンチェスター市(英国)発 11月13日]

マンチェスター市のナイーム・ウル・ハッサン市長は、11月13日、正式にサラフディン・チョウドリ氏を平和首長会議 2020 ビジョンキャンペーン大使に任命しました。チョウドリ氏は元駐英パキスタン総領事であり、30年以上にわたる外交官経験があります。90年代に国連を代表して紛争下のボスニアに赴任、ミャンマーの民主化キャンペーンの期間に現地に駐在したほか、国際ロータリーのマンチェスター支部長などを歴任しました。2020 ビジョンキャンペーン大使として、チョウドリ氏は国連及び南アジアにおける平和首長会議の支援者の開拓に協力し、平和首長会議の英国・アイルランド支部を支援する行事の企画に貢献することを誓約しました。

レセプションでは、広島市の原水協から核軍縮キャンペーン(CND)マンチェスター支部に贈られた折鶴の束をマンチェスター市長が受け取りました。このレセプションはマンチェスター市が平和首長会議の英国支部を立ち上げることを改めて表明する機会となりました。また2014年6月にマンチェスター市郊外のThe Quaysで開催される「Making Peace (平和構築)」展への支援を発表する機会となりました。この大規模な写真展は、国際平和ビューローが実施し、世界の平和と人権を推進する様々なテーマを扱っています。マンチェスター市中心部でも同時に行われるサテライト展示は、ノーベル平和賞受賞団体であり、マンチェスターに国際本部を置いて地雷問題に取り組む「マインズ・アドバイザー・グループ」の25周年を記念して行われます。

▼詳細記事 (平和首長会議ウェブサイト)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/memberscity/2013/131113_manchester_MfP_reception.html

▼「Making Peace」展 (英語)

<http://makingpeace.org/en/>

◆赤十字・赤新月社代表者会議で核兵器廃絶を求める決議を全会一致で採択
[シドニー市 (オーストラリア) 11月18日]

シドニー市で11月中旬に開催された赤十字・赤新月社代表者会議において、「核兵器廃絶を目指す取組：4年間の行動計画」と題した決議が全会一致で採択されました。この決議には、各国の赤十字社が核兵器についての関連資料をホームページに母国語で掲載することなどを含め、各国、地域、国際レベルで赤十字・赤新月運動として取り組む具体的な行動が記されており、核兵器使用の人的影響への認識を広げ、核兵器使用の禁止及び核兵器廃絶に取り組む指針が明らかにされています。

赤十字・赤新月社総会及び代表者会議の会場には、平和首長会議のものとは別にヒロシマ・ナガサキの被爆の実相を伝えるポスターが掲示されており、組織を挙げた核兵器廃絶への強いコミットメントが感じられました。平和首長会議は今後、赤十字・赤新月運動との連携を更に強化していきます。

▼決議文全文 (赤十字国際委員会ウェブサイト 英語)

<http://www.icrc.org/eng/assets/files/red-cross-crescent-movement/council-delegates-2013/cod13-res-nw-dr1-eng.pdf>

◆加盟都市の活動紹介

*市原市 (千葉県)

平成25年度市原市平和祈念事業紹介

市のホームページでは、7月15日(海の日)に市原市で開催された『家族映画会』における、赤十字国際委員会の派遣員として戦地で活躍したスイス人医師マルセル・ジュノー博士の生涯を描いた『ジュノー』の上映や、市原市立青葉台小学校合唱部による平和祈念コンサート、戦時中食事体験としてのすいとんの

無料配布の様子をはじめ、市内の中学生を対象とした平和推進標語コンクールの入賞作品、平和首長会議への加盟、非核平和都市宣言などが紹介されています。

▼関連情報（市原市ウェブサイト）

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/010kikaku/jinken/dannjyo/heiwa.html>

その他、上述のドイツの平和首長会議加盟都市による要請、マンチェスター市（英国）のレセプションについても平和首長会議ホームページの活動紹介コーナーで紹介しています。

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議加盟都市が5000を突破したことを記念し、昨年5月のオーストリア・ウィーン市での開催を皮切りに、原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んできましたが、8月に開催された第8回平和市長会議総会の決定事項を受けて平和首長会議原爆ポスターを一部リニューアルしました。引き続き、リニューアルしたポスター展の開催にご協力ください。

ポスター展は現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、250を超える自治体がすでに開催しています。

国内では、三浦市（神奈川県）（11月24日実施）から新たに開催結果が届きました。海外では、上述のとおりシドニー市（オーストラリア）で11月に開催しました。

ぜひポスター展開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚＋参考情報1枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、一昨年11月の理事会及び昨年1月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第8回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2013年12月1日現在、860,683筆の署名が集まっています。

全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-hiroins.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆11月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、11月に次のような外国人来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組および加盟要請への協力をお願いしました。

*11月20日(水) ラッシーナ・ゼルボ 包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)準備委員会
暫定技術事務局長

*11月21日(木) ジャン＝ポール・コスタ 元ヨーロッパ人権裁判所所長

*11月22日(金) バリー・J・パーマー ライオンズクラブ国際協会会長

*11月26日(火) シャルル＝アンリ・ブロー 在京都フランス総領事

▼関連情報：広島市/日々の動静—2013年11月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1383286940883/index.html>

=====

◆平和首長会議加盟自治体数：158か国・地域 5,831自治体

=====

皆様のご理解とご協力により、今月28都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は12月1日現在で5,831自治体(158か国・地域)となりました。

このうち日本国内では、日野市(東京都)など新たに5自治体が加盟し、国内の加盟自治体数は1,392自治体となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の加盟要請活動により、イランから15都市が加盟した他、上述の赤十字・赤新月社総会会場で開催した平和首長会議原爆ポスター展のブースで、モルドバ共和国のサドイク市が加盟しました。同国からの加盟は19年ぶりです。また、ドイツから2都市、イタリア、オランダ、スウェーデン、エルサルバドル、ペルーからそれぞれ1都市が新たに加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼12月1日付新規加盟自治体一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2013/newmembers1312_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp